



Rosa Centifolia

P. J. Redoute

Rosier a cent feuilles

L. Anglès

ルドウィーテ展

ボタニカルアート
19世紀植物画の世界

2020年4月2日(木)~5月24日(日) ※会期中無休

関連イベント 【記念講演会】4月19日(日)午後2時~ 講師:中村美砂子氏(日本ルドウィーテ協会 副代表理事)

開館時間:午前9時30分~午後5時30分(入館は午後5時まで)

入館料:一般1,000円(4枚セット券3,000円)/大学生800円/高校生500円/中学生以下無料

主催:公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム

後援:中日新聞社、読売新聞社、朝日新聞社、NHK津放送局、三重テレビ放送

特別協力:コノサズ・コレクション東京



〔パンジー〕「美花選」より 1827-33年刊 銅版、手彩色・紙



〔ツバキ(八重咲き栽培品種)〕「美花選」より 1827-33年刊 銅版、手彩色・紙



〔ヨウラクユリ(変種ルテア)〕「美花選」より 1827-33年刊 銅版、手彩色・紙



〔イチゴ(フラガリア・チロエンシス)〕「美花選」より 1827-33年刊 銅版、手彩色・紙



〔ルリスイレン〕「美花選」より 1827-33年刊 銅版、手彩色・紙

ルドウーテ展

ボタニカルアート
～19世紀植物画の世界～

ピエール＝ジョゼフ・ルドウーテは、1759年、現在のベルギーの代々画家を家業とする家に生まれました。23歳の時にパリに移って画家として成功し、王妃マリー・アントワネットから「博物蒐集室付画家」の称号を授かっています。そして、フランス革命後も画家として活躍し、ナポレオン皇妃ジョゼフィーヌの信を得て、マルメゾン宮殿の花を描く宮廷画家に任命されています。また植物画家としてのルドウーテは、その高い技量から「花のラファエロ」「バラのレンブラント」とも称されています。

今回は、ルドウーテの代表作の一つである「美花選(Choix des plus belles fleurs) 1827-33年刊の完全シリーズ144点と、貴重な肉筆画を含む関連作品を合わせて160点余りをそれぞれの植物の情報とともに展示し、19世紀フランス植物画の世界をお楽しみいただけます。

※掲載画像作品の所蔵はすべてコナサズ・コレクション東京です

会期中の
イベント

パラミタコンサート
4月5日(日)フルート/ホルン/ファゴット/
クラリネット/ピアノ
5月17日(日)フルート/ピアノ
いずれも午後2時～3時

第18回
子ども写生大会
5月5日(火・祝)
午前9時30分～午後3時



〔(下)ツバキ、(右上)スイセン、(左上)パンジー〕「美花選」より 1827-33年刊 銅版、手彩色・紙

次回展示のお知らせ

2020.5.28(木)▶7.28(火) 第15回パラミタ陶芸大賞展

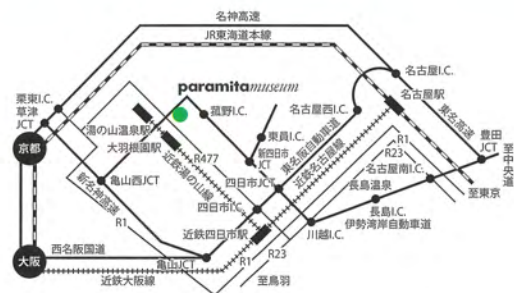
【投票期間】5/28(木)～7/5(日) 【大賞発表式】7/19(日)

国内の美術館・画廊・美術評論家などの推薦により上位6名をミネートし、投票期間中の美術館来館者の投票により大賞を選びます。最多得票数獲得者一名に、第15回パラミタ陶芸大賞を授与します。

【出品作家(五十音順)】黒川徹(京都府亀岡市)／高橋朋子(千葉県八街市)／谷崎(滋賀県甲賀市)／田淵太郎(香川県高松市)／増原嘉央理(北海道札幌市)／松村淳(埼玉県南埼玉郡)

同時開催 指勘 組子 建具展 黒田之男・裕次 ～父から息子へ技の伝承

■お車をご利用の場合／○東名阪「四日市IC」より湯の山温泉方面へ約6.5km ○新名神「菟野IC」より約4km ■無料駐車場有り(普通車100台、大型バス駐車可)
■電車をご利用の場合／近鉄「四日市駅」より近鉄湯の山線にて約25分、「大羽根園駅」下車、湯の山温泉方面へ300m ■全館バリアフリー、車椅子常備



paramitamuseum

公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム 〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6
Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077 E-mail office@paramitamuseum.com
http://www.paramitamuseum.com Facebook www.facebook.com/paramitamuseum Twitter @paramita_muse

パラミタミュージアム 検索